



## 中華人民共和國總領事館

同胞の皆様、友人の皆様：

中華人民共和國成立71周年にあたり、中国駐福岡総領事館を代表し、管轄区域内の同胞の皆様にお慶び申し上げます。また、長きに渡り中国の発展に関心を持ち支持をし、中日友好事業に取り組んでこられた日本の友人の皆様と、この喜びを分かち合いたいと思います。今年には新型コロナウイルス感染防止の為、国慶節レセプションの場にて皆様と一堂に会することはできませんが、略儀ながら、書面にてご挨拶申し上げます。

2020年は極めて非平凡な一年です。新型コロナウイルスが全世界で猛威を振るい、各地で自然災害が頻発し、国際情勢も複雑で先行きの不透明感が高まり、世界各国は共に大きなプレッシャーと挑戦に直面しています。中国経済は、この新型コロナウイルスと国際情勢変動の影響を受け、今年第1四半期のGDPは前年同期と比べて6.8%減の大きな下落となりました。このようなこれまでにない挑戦を前に、中国国民は中国共産党と中国政府の堅固な指導のもと、皆で心を一つにして、強靱な意志、果敢な行動そして徹底的

な措置をもって迅速に感染拡大を抑え、新型コロナウイルスとの闘いにおいて戦略的成果を収め、全面的な経済回復を順調に進めてきました。その成果として、第2四半期のGDPは3.2%の成長率を実現し、主要経済指標も良い方向に向かっており、中国は2020年で唯一プラス成長を保てる主要エコノミーになると見込まれ、また世界経済回復の強いエンジンとなっています。

新中国の波瀾万丈な発展道路は茨の道であり、多くの紆余曲折を経てきました。数々の挑戦に立ち向かい、困難を乗り越えてきたからこそ、我々は現在の繁栄、富強、調和のとれた美しい中国を築けたのです。1949年から2019年までを見ると、我が祖国のGDPは300億ドルから14.4兆ドル、一人当たりのGDPは23ドルから1万ドルを突破するという、飛躍的な発展を遂げました。また貨物輸出入総額は11.3億ドルから4.6兆ドルに、平均寿命は35歳から77.3歳へ大幅に伸び、80%以上だった文盲率は94.8%の九年義務教育実現率に変わり、さらに1978年に97.5%だった農村貧困発生率は0.6%にまで下がりました。2020年、我々はまた貧困脱却堅塁攻略の決戦に勝利し、小康（ややゆとりのある）社会の全面的な完成を迎えます。中華民族の偉大なる復興という「チャイナドリーム」は我々の手で一步一步着実に実現へと近づきつつあります。これらの成果は全ての中国人が誇るべきことであり、それを受けて、

私たちは新型コロナウイルスを全面的に抑え、現在または今後直面する全ての難関を乗り越える自信と決心、能力が充分にあります。

新時代の中国はすでに質の高い発展レベルに入っており、巨大規模の国内市場がもたらした優位性に立ち、我々は国内の大循環を主体として、国内と国際の二重循環が相互に促進するという新たな発展枠組みを構築し、改革開放を絶えず拡大し、一貫して平和的な発展を堅持し、「一帯一路」などのプラットフォームを利用して、日本を含む世界各国と発展の成果やチャンスシェアし、共に人類運命共同体を構築していきます。

中国と日本は一衣帯水の隣国であり、友好交流の歴史が長いです。新型コロナウイルスと豪雨災害の前で、両国国民はお互いに助け合い、「山川異域、風月同天」、「豈曰無衣、与子同袍」など数々の感動的な物語を描きました。このことはいつまでも忘れられません。日本の各界より中国の新型コロナウイルス感染症及び豪雨災害対策に対していただいたご関心とご協力に心より感謝を申し上げます。また、中国駐福岡総領事館を代表し、新型コロナウイルス感染症と豪雨災害に遭われた日本の皆様へ心よりお見舞いを申し上げます。

両国各界の共同努力の下、中日間の経済貿易協力は率先して去年同期とほぼ同レベルまで回復し、これは低迷する

世界市場で特に注目され、中日協力の巨大な潜在力を顕著に表しました。中日両国の互惠ウィンウィン、共同发展は両国民の利益に合致するだけでなく、地域と世界の繁栄と安定にも寄与します。九州、沖縄、山口地域は日本の中で最も中国に近い地域として、古くより日本と中国及びアジア大陸を繋げる玄関口の役割を果たしてきました。現在も対中国友好交流の先頭を走っており、各分野における協力は盛んに行われ、実り多き成果を収めています。九州、沖縄、山口地域内の各界の皆様におかれましては、今後とも引き続き、このような伝統的優位性を生かして、中日友好関係発展の牽引役として、両国の各分野における交流と協力の推進、そして中日関係の改善と発展にお力添えを賜りますよう、心より期待しております。

中日両国の益々の発展、両国民の世代代の友好をお祈り申し上げます。

中華人民共和国駐福岡総領事

緯桂軍

2020年9月吉日